

第116回理学部コロキウム

昔の地震を発掘する -活断層を調査して，研究結果を社会へ届ける-

産業技術総合研究所 地質調査総合センター 活断層・火山研究部門
活断層評価研究グループ 宮下由香里



日時：7月28日（水）16:30～17:40（紹介・質疑応答含む）
オンライン Zoom（教職員・学生の皆さんにはミーティングIDとパスコード
を別途お知らせします）

私たちが暮らす日本列島には、約2000もの活断層があると言われています。2000年以降に活断層が引き起こした被害地震は10個で、およそ2年に1回は、大きな地震に見舞われていることとなります。

私たちのグループは、将来活断層が引き起こす地震に備えるため、全国の陸上および沿岸海域の活断層を対象に、活断層の位置や形状を詳細に把握し、過去の活動履歴を明らかにするための調査・研究を行っています。

今回の講演では、どのように活断層を調査し、未来の地震像を予測するのかについて、2016年熊本地震を例に、分野外の方や学部学生を想定して、分かりやすくお話ししたいと思います。また、研究で得られた結果を、防災・減災にどのように役立てていけるのか、大学で科学を志している皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

問い合わせ先：井筒ゆみ (izutsu@gs.niigata-u.ac.jp)